

スタッフ8名 (回答)

児童発達支援事業所における自己評価結果 (公表用)

公表: 令和 5年 12月 15日

事業所名 児童発達支援あいほっぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
体制	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	限られたスペースの中で、療育目的に応じた使い分けを行っている	
	2	職員の配置数は適切である	6	2	適切である	突発的な人員不足に配慮していく必要有
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	活動別で部屋を分け、メリハリのある分かりやすい環境作りを心掛けている	職員間の情報伝達がしにくい構造であるので、ノートやホワイトボードで全員が確認できる様工夫している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1	毎日の清掃・療育前の消毒を徹底している カーペットからクッション	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画している	6	1	月1のMT・朝礼・振り返りを行い、職員全体が目標を明確に業務遂行している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	評価表の確認、職員間で話し合い、業務改善へと繋げている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	自己評価表、保護者評価表を確認、改善に向けた話し合いを行い、ホームページでの公開をしている	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	外部からの派遣されたOTによる評価を参考にし、業務改善を行っている (3ヶ月)	外部評価がメインではない為、今後は外部評価を検討していきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	外部委託の作業療法士による研修を3ヶ月毎に行い、県等の研修参加を確保している	県等の研修の機会を確保しているが、更に機械を増やしていきたい
支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	アセスメントを適切に行い、保護者の考えを十分に聴いた上で支援計画を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援 (本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	具体的な支援計画が設定されている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	支援計画に沿った支援を行っている (療育指示書を用いて、毎日確認をしている)	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	デイリーミーティング (ケアカンファレンス) にてチームで行っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	ケアカンファレンスにて職員間で共有と工夫をしている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	8	0	ケアカンファレンスにて児童の状況を共有し、1人ひとりに合った個別・集団内容を組み合わせ、支援計画を作成している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	朝礼時にリーダーが1日の流れを説明し、支援内容や個別集団の配置等の確認、共有している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	デイリーミーティング (ケアカンファレンス) を行い、気づきや反省・改善点	更にミーティング時間を確保していきたい
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	実績記録・療育指示書に記録をとり、支援の検証・改善につなげている	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	定期的にモニタリングを行っている		
連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児童発達支援管理責任者が参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	行っている	十分な連携とまでには至らず、今後はより一層、関係機関との連携を図りたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	3		該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	3		該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校 (幼稚部) 等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	送迎時や電話等で、園との情報共有・相互理解を図っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部) との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	職員が特別支援学校へ見学に行き、情報共有と状況把握をしている	卒園後に行く各小学校の共有も行って行きたい
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	5	連携している	定期的な研修を行える様にしていきたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7		事業所以外の児童との活動機会が無い為、今後検討していきたい
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7		同上
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	送迎時や電話等で保護者との情報の共有を図っている	
説明	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等) の支援を行っている	4	3	ペアレントトレーニングの研修の職員参加済生かした支援を行っている	更に力を入れていく必要がある
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	説明を行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	保護者説明を行い、同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	連絡帳・口頭・電話等で行っている また、相談窓口の設置有	まだ至らない部分があると思うので、相談がしやすい環境作りを更に行っていく必要がある
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		前向きに検討したい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	相談窓口の設置を行い、迅速かつ適切に対応している	まだ至らない部分があると思うので、相談がしやすい環境作りを更に行っていく必要がある
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	お便り・SNS・月の集中プログラム (毎月発行) にて、活動概要や行事予定の情報を発信している 十分に注意している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	十分に配慮している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6		今後は地域住民等も交えた事業運営を図りたい
時等の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	各マニュアルの策定済 また、年2回以上の各訓練を行っている	SNSやお便りで訓練の様子等を発信しているが、更に保護者への周知を強化していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	各訓練の実施をしている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8	0	アセスメント時に確認している	現在該当なし
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	アセスメント時に確認している	現在該当なし
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ヒヤリハットの作成と共有をしている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	社内にて研修を行い、適切な対応をしている	更なる研修機会を増やし、全職員が常に周知出来る様に取り組みたい
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	2	社内にて研修を行い、適切な対応をしている (該当利用者なし)	更なる研修機会を増やし、全職員が常に周知出来る様に取り組みたい

この「事業所における自己評価結果 (公表)」は事業所全体で行った自己評価です。